

2020 年度 学校関係者評価報告書

実施日：2020 年 9 月 3 日（木）

2020 年 9 月

北斗会看護専門学校

学校関係者評価委員会

2020 年度北斗会看護専門学校 重点目標

重点目標1 学生に目を向けた一人一人の能力を引き出す指導体制を作る

重点目標2 状況判断能力を高め、コミュニケーション力を育てる指導をする。

重点目標3 国家試験合格率 100%

2019 年度の自己点検・評価の報告に基づき、以上 3 点の重点目標についての取り組み、及び審議を行い、以下のとおり学校関係者評価を実施した。

<学校関係者委員会>

委員長 神戸市ケアマネジャー連絡会副代表

福祉推進協議会 会長

地域の病院施設の看護管理者

1. 学校長挨拶及び趣旨説明

- ・自己点検・自己評価については2004年より毎年行い重点目標をあげ取り組んできた。
- ・今年度から学校関係者評価を開始することになった。
- ・学校関係者評価の目的は本校教職員によって行われた自己評価の結果を審議し、その客観性や透明性を高めるとともに、今後の改善方策等について助言を得ることである。
- ・学校関係者評価委員の方々には学校を知る機会となることと共に、地域の中での本校の役割を考える機会となる。その評価結果は、ホームページに公表する。

2. 委員及び参加者紹介

<学校教職員>

学校長、事務部長、副学校長、教務主任、実習調整者、法人顧問…計6名

<委員>

委員長 教育に関する分野の有識者、講師関係者
神戸市ケアマネジャー連絡会 副代表
ハーモニーハウス名張 施設長

学校周辺の地域に精通する地域住民または地元企業関係者
豊中市社会福祉協議会・校区福祉委員会の経験をもち、
中豊島福祉推進協議会会長

関連業界等関係者
学校周辺の病院施設の管理者である
篤友会 坂本病院
看護部長

…計3名

合計9名

3. 学校評価の事業計画及びスケジュールについて資料に基づき説明

資料に基づき学校評価のスケジュール概要説明

4. 自己評価概要説明

資料に基づき自己評価の概要説明

5. 重点目標の説明

資料に基づき重点目標と中期目標の概要説明

重点目標について

重点目標1 学生に目を向けた一人一人の能力を引き出す指導体制を作る。

<p>実施内容</p>	<p>1. 学習支援が必要な学生には個人指導を強化する。</p> <p><2年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者模試の受験を7回計画。 ・実習期間中後半より各グループで問題に取り組む時間を設ける。 ・国家試験問題集に取り組む。 <p><1年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前ガイダンス、入学後の学習の進め方、スタートアップテストにより、学習への動機づけを高める。 ・4月にビジョンワークを行い、願い、希望を表現できる場を持たせる <input type="checkbox"/> 休校により中止。 <p>2. 学生の思いや考えを表現させる機会、計画的な取り組みの状況など一人一人を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCA ノートを活用することで学ぶこと、専門職となることへの動機づけを高める。 <p>3. 新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じるとともに、基礎学力の低下、単位習得の不足が起こらないよう支援する…課題：クラスづくりが困難。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双方型授業導入に伴う円滑な授業 ・学習支援が必要となる学生の確認と支援 <p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/>①授業やテストの状況を把握していく ②授業と同じく時間を設けて個別指導 ③学校に近い学生であれば登校し指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校日の設定によりクラスづくりを計画。 <p>4. 小グループによる面接、学習支援。</p>
<p>審議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ世代だからと言われたいような教育は必要と思われる。 ・日々学内で行われているこうした取り組みは継続して欲しい。 ・学生のアンケート結果からはほぼ全員が満足している状況であることから、入学すれば十分に充実した学習環境であることがわかる。

重点目標2 状況判断能力を高め、コミュニケーション力を育てる指導をする。

<p>実施内容</p>	<p>1. あいさつ・報告など基本的なことができる学生を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染対策のため、登校ができていないことにより、学生同士
-------------	--

	<p>の交流、関係作りができていない。少ない時間の中でも関係が築ける計画を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻などの連絡、翌日の報告が適切にできるように指導する。 <p>2. 判断力を求められる場面を活かし、状況判断能力を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、判断、報告が適切に行われることは難しいことが多いが、様々な場面でどう判断したかを問いかける。
審議	<ul style="list-style-type: none"> ・看護専門職としては必要な力である。 ・今は大変な時期だろう。しかし、今の時期であるからこそ取り組むことが必要であり、強みにもなる。

重点目標 3 国家試験合格率 100%

実施内容	<p><1年次></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国家試験のガイダンスの定期的な実施。 →現在学習の仕方のガイダンスを行う。 2. 専門基礎科目の強化。 <p><2年次></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模試の結果を真摯に受け止め自ら進んで学習に取り組むよう支援する。 2. 休校に伴う授業予定の大きな変更、遅れが生じているため、国家試験対策として実習と並行して行う。 ⇒学習支援が必要な学生への個別対応。 ⇒実習中の登校日、帰校日では状況設定問題に取り組む。
審議	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の合格率は上げて欲しい。 ・学生が望んでいることは国家試験に合格すること。 ・国家試験の合格率は学校のレベルを反映することになる。 ・学校の教員だけでなく、外部講師の先生方にも国家試験の出題問題を伝え、共有することで一緒に取り組んでもらうことをお願いすることが良いのではないか⇒今後授業の相談を行うとき、今まで以上に意識して外部講師との調整、情報交換にあたる。

6. 講評

- ・地域の中の学校ということでは、今までに民生委員などの講習会を学校で行ったこともあった。医療・介護・保育なども含めて地域と学校と連携していただけたらと考える。
- ・シングルマザーや経済的にサポートが必要な学生が増えているように感じる。看護師の仕事に目標が持て、学習ができるような経済的支援を充実させることも必要。
- ・准看護学校の閉校が相次いでいる。本校の入学者数も欠員となっており、学生募集を充実させることも必要。
- ・入学者の立場から見た意見を伝える。社会人経験を持って看護師となる人も増えている。20～40歳代の進学を希望する学生に話を聞いて感じたこととして、高校生もいれば、社会人としての大人もいる。パンフレット一つでも対象の目線で考えると字体、見栄えなど取り組めることがある。大人としての対象を意識することも必要。工夫できることがあるのではないかと。入学を絞る場合には視覚的な情報の工夫は大切。
- ・卒業校としては存続して欲しいと思うが、准看護学校の閉校など現状も考えて今後の運営についてはどう考えていくのか。様々な工夫、別の提案、変更も必要となるかもしれないのではないだろうか。教員自身が運営という視点を持つことが大切。

7. 学校長による総括

様々な角度からご意見を頂戴することができ、ありがたい。本校の教員は教育に熱く、教育体制はしっかりしていると考えている。

准看護学校の閉校に伴い、本校の受験生確保に教職員は危機意識があり、大きな課題ととらえている。学生確保の取り組みでは前副学校長が中心となり、全国を学校訪問するなど様々な取り組みを続けている。外部からのこういった貴重なご意見を頂き、今後も本校の存続に向けて努力したい。

国家試験への取り組みも教育を見直し、より強化していきたい。

経済的な支援についても様々な状況に対応できるように支援体制を充実させたい。

学校関係者評価委員会を末永く継続させていけるよう、今後ともご支援をお願いしたい。

8. その他

次回の会議日程

2021年3月卒業式が終了したのちに、年度の評価と次年度に向けた取り組みについてご意見を頂けるよう、準備したい。